

障害者職業相談補助シート

【このシートで収集できる情報】

I 基本情報

- i 障害と健康管理に関する事項
- ii 家族や関係機関の支援に関する事項
- iii 仕事の希望等に関する事項
(転職希望の理由(在職者用))

II 生活に関する基本情報

III 労働習慣等に関する基本情報

IV 結果の整理

V 職業相談及び支援の進め方

- i 就労に際して配慮を必要とする事項
- ii 各種就労支援制度の適用可能性
- iii チーム支援の必要性

【記入の仕方】

- 1 求職者本人や同伴した家族や支援者から、I～IIIの「基本情報」に係る情報を収集します。
- 2 太線で囲んだ箇所は十分であると評価される場合に○印をつけてください。
十分でないと評価した場合には無印とします。
また、不明の場合は「不明」と記してください。
- 3 IV「結果の整理」で得られた分類に基きあっせん計画の目安を得た後、V「職業相談及び支援の進め方」において、相談者の所見を記入します。

【聴取に際しての留意点】

- 1 I～IIIまでの情報を順に聴き取る必要はありません。
- 2 項目を埋めることのみにとらわれ過ぎないようにしましょう。回答の背景を話し合うことで相談が深まります。
- 3 必要に応じて、何回かに分けて、求職者との関係を築きながら記入すると効果的です。
- 4 「活用手引き」やその中の記入例を参考にしながら情報を収集してください。

求職者氏名	
求職番号	
記入日	平成 年 月 日
聞き取り対象者	本人・家族(父・母・兄弟・親戚)・支援者・その他()

I 基本情報

i 障害と健康管理に関する事項	手帳の有無・種類	身体障害者手帳 ・ 療育手帳 ・ 精神障害者保健福祉手帳 ・ 無	
	①障害の自己認識	チェック欄	備考
	主治医の意見書 または診断書	有 ・ 無	備考
	通院	有 ・ 無	内容 回 / 週 ・ 月
	②通院の安定度※	チェック欄	備考
			※通院の必要が無い場合は便宜的に○をつけ、備考欄に「不要」と記してください。
服薬	有 ・ 無	内容	
③服薬管理※	チェック欄	備考	
		※服薬の必要が無い場合は便宜的に○をつけ、備考欄に「不要」と記してください。	

ii 家族や関係機関の支援に関する事項	④家族や関係機関の支援への期待	チェック欄	家族等名	
			連絡先	
	備考			
	機関名(担当者)			
	連絡先			
	備考			
	機関名(担当者)			
	連絡先			
	備考			
	関係機関との情報共有に関し、同意が得られる場合にはチェックする			

iii 仕事の希望等に関する事項	⑤仕事に対する希望・考え方	チェック欄	備考	
	第1希望			
	第2希望			
	希望就業時間	時間／日	日／週	時間／週
	⑥労働市場に対する認識	チェック欄	備考	

転職希望の理由 (在職者の場合)	現在の就業状況	
	転職についての考え	
	職場定着の配慮事項	
企業担当者との情報共有に関し、同意が得られる場合にはチェックする		

※①～⑥のうち、就職実現に著しい阻害要因となる可能性のある項目の番号を記入

小計	分類 I
	5～6(A)
	2～4(B)
	0～1(C)

・○の数の合計を書く

・合計数から当てはまる記号を書く

II 生活に関する基本情報

① 起床、食事、睡眠等の生活リズムは規則正しい	チェック欄
② 健康面の自己管理ができる	
③ 身だしなみへの配慮ができる	
④ 日常会話程度の意思交換ができる	
⑤ 情緒が安定している	
⑥ 社会のルールやマナーに沿った行動ができる	
⑦ 交通機関を単独で利用できる	
⑧ 金銭管理ができる	

※①～⑧のうち、就職実現に著しい阻害要因となる可能性のある項目の番号を記入

背景及び特記事項

小計	分類 II
	7～8(A)
	2～6(B)
	0～1(C)

・○の数の合計を書く

・合計数から当てはまる記号を書く

Ⅲ 労働習慣等に関する基本情報

チェック欄

① 1日4時間、週20時間以上の仕事を行えるだけの体力がある	
② 安定した出勤ができる	
③ 指示どおりに作業ができる	
④ 質問、報告、連絡ができる	
⑤ 職場内の他者と協調できる	
⑥ 自発的に作業に取り組むことができる	
⑦ 敏速で正確な作業ができる	
⑧ 安全を考慮して仕事ができる	

※①～⑧のうち、就職実現に著しい阻害要因となる可能性のある項目の番号を記入

背景及び特記事項

小計	分類Ⅲ
	7～8(a)
	2～6(b)
	0～1(c)

・○の数の合計を書く

・合計数から当てはまる記号を書く

Ⅳ 結果の整理

分類Ⅰ

分類Ⅱ 分類Ⅲ

分類Ⅱ 分類Ⅲ	分類Ⅰ		
	A	B	C
Aa	◎	○	△
Ab(Ba) Bb	○	○	△
Ac(Ca) Cb(Bc)	△	△	□
Cc	□	□	□

分類記号の定義（あっせん計画の目安）

◎	ハローワークにおける就職あっせんが可能と推量される。
○	ハローワークにおける就職あっせんを検討できるが、就労支援機関と連携して、基本情報Ⅰ～Ⅲにおいて課題となる事項の改善を図りつつ、具体的なあっせん計画を検討しても良い。
△	就労支援機関と連携し、中・長期にわたり、基本情報Ⅰ～Ⅲにおいて課題となる事項の改善を図りつつ、具体的なあっせん計画を検討していく必要がある。
□	医療や福祉の専門機関と連携し、基本情報Ⅰ～Ⅲにおいて、著しい阻害要因、または、課題となる事項の改善を図りつつ職業リハビリテーションへの移行を継続して相談していく必要がある。

注) 基本情報Ⅰ～Ⅲに係る22項目のうち就職実現に著しい阻害要因となる可能性のある項目が1つでもある場合は、「□」に分類。

Ⅴ 就労支援の進め方

i 就労に際して配慮を必要とする事項	
ii 各種就労支援制度の適用可能性	
<ul style="list-style-type: none"> ・公共職業訓練・障害者の態様に応じた多様な委託訓練・職場適応訓練 ・障害者試行雇用(トライアル雇用)事業・精神障害者ステップアップ雇用 ・(特定求職者・発達障害者・難治性疾患患者)雇用開発助成金 ・業務遂行援助者配置助成金 ・職場適応援助者(ジョブコーチ)支援事業 ・その他() 	
iii チーム支援の必要性	
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者職業センター ・障害者就業・生活支援センター ・福祉機関 ・医療保健機関 ・教育機関 ・その他() 	